学校番号	2004

令和８年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	地域社会の健康	単位数	１単位	年次	３年次
使用教科書	新高等保健体育　大修館書店						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

地域社会の健康では、自然災害（地震、水災害、火災、環境問題等）や社会災害（労働安全、危機管理、ヒューマンエラー、メンタルヘルス等）の諸問題を解決するため、「安全・安心」をキーワードに地域の人々が輝ける社会づくりについて学んでいきます。また、授業や発表、自主研究などを通して、事故や災害などによる損失を最小化する「リスクマネジメント」、一度被災した建物やライフラインが元の状態に戻り、人々の生活条件を確保していく「復興・復旧」、労働者が安全で安心して働くことができる「労働安全・危機管理」などを多面的、総合的に分析・研究していきましょう。

2　学習の到達目標

人々が健康で暮らし、働いていくためには、個人の力だけではなく、個人を取り巻く自然環境や社会の環境等が深くかかわっている。人々が健康に暮らし、働いていくために必要なことについて、講義や発表、自主研究などを通して学習し、自然災害や社会災害などの諸問題を解決するための資質や能力を次の通り育成する。

（１）　自然災害（地震、水災害、火災、環境問題等）や社会災害（労働安全、危機管理、ヒューマンエラー、メンタルヘルス等）について理解を深めるとともに、知識・技能を身につけるようにする。

（２）　自然災害（地震、水災害、火災、環境問題等）や社会災害（労働安全、危機管理、ヒューマンエラー、メンタルヘルス等）についての課題を発見し、客観的に分析するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。

（３）　自然災害（地震、水災害、火災、環境問題等）や社会災害（労働安全、危機管理、ヒューマンエラー、メンタルヘルス等）について関心を持ち、課題の解決に向けた学習に主体的に学習に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	自然災害（地震、水災害、火災、環境問題等）や社会災害（労働安全、危機管理、ヒューマンエラー、メンタルヘルス等）について理解を深めるとともに、学習した内容を具体的に言ったり書き出したりしている。	自然災害（地震、水災害、火災、環境問題等）や社会災害（労働安全、危機管理、ヒューマンエラー、メンタルヘルス等）についての課題を発見し、客観的に分析するとともに、目的や状況に応じて他者に伝えようとしている。	自然災害（地震、水災害、火災、環境問題等）や社会災害（労働安全、危機管理、ヒューマンエラー、メンタルヘルス等）について関心を持ち、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期	自然災害	・地震(耐震) ・水災害(防水) ・火災(防災)	a：地震や水災害、火災が起こる原因やそれらの自然災害に備えること(耐震､防水､防災)について理解し、学習した内容を具体的に言ったり書き出したりしている。 b：地震や水災害、火災が起こる原因やそれらの自然災害に備えること(耐震､防水､防災)について、主観的な考えや見方ではなく､立地や地盤のデータなど､客観的に物事を考えて、分析し、他者に伝えることができる。 c：地震や水災害、火災が起こる原因やそれらの自然災害に備えること(耐震､防水､防災)について学び、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	筆記テスト	振り返りシート 発表(プレゼンテーション)	振り返りシート 授業に向けての準備

		・環境問題(環境政策)	a: 地震や水災害、火災、その他の環境問題について理解し、学習した内容を具体的に言ったり書き出したりしている。 b:環境問題について、主観的な考えや見方ではなく、人口や自然、気候など様々な視点から物事を考えて、分析し、他者に伝えることができる。 c: 環境問題について学び、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。			

	社会災害	・労働安全 ・危機管理 ・ヒューマンエラー ・メンタルヘルス(心理学)	a: 働く人の健康面や安全面、労働時間等とヒューマンエラーとの関連性や心理学について理解し、学習した内容を具体的に言ったり書き出したりしている。 b: 働く人の健康面や安全面、労働時間等とヒューマンエラーとの関連性や心理学について、主観的な考えや見方ではなく、労働者の勤務形態や労働時間、事故やミスが起こった時の心理状態などを客観的に考えて、分析し、他者に伝えることができる。 c: 働く人の健康面や安全面、労働時間等とヒューマンエラーとの関連性や心理学について学び、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	筆記テスト	振り返りシート 発表(プレゼンテーション)	振り返りシート 授業に向けての準備
		・事故調査制度	a: 実際に事故が起こった際の調査方法や、制度面について理解し、学習した内容を具体的に言ったり書き出したりしている。 b: 実際に事故が起こった際の調査方法や、制度面について、主観的な考えや見方ではなく、過去のデータや法制度、規則などの客観的な視点から物事を考えて、分析し、他者に伝えることができる。 c: 実際に事故が起こった際の調査方法や、制度面について学び、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度